

## 前回定例会以降の動き

柏崎市危機管理部 防災・原子力課

### 1 安全協定に基づく状況確認【7月11日】

新潟県、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

〔主な確認内容〕

- 7号機残留熱除去系の安全対策工事において電源ケーブルを移設した際、ケーブルの一部を火災防護区域外に敷設していた不適合について説明を受け、現場確認を行いました。
- 事故時に原子炉建屋内に漏えいした水素の濃度が、どのように変化するかを評価した解析に誤りがあった不適合について、原因の調査状況や再発防止対策の説明を受け、現場確認を行いました。

### 2 原子力災害時の住民避難を円滑にするための道路整備等に関する要望【7月18日】

7月18日、櫻井市長が花角知事と品田村長とともに、西村内閣府特命担当大臣（原子力防災）に対し、原子力災害時の住民避難を円滑にするための道路の整備等について要望しました。

### 3 市町村による原子力安全対策に関する研究会 実務担当者会議【7月27日】

県内市町村の原子力防災担当職員が一堂に会し、以下のテーマについて各担当者から説明を受け、質疑と意見交換を行いました。

- ・原子力発電所連絡会（東京電力ホールディングス株式会社）
- ・柏崎刈羽原子力発電所に関する原子力規制の現状について（柏崎刈羽原子力規制事務所）
- ・国の原子力安全対策について（内閣府）
- ・新潟県の原子力安全対策について（新潟県）

以上

## 委員ご質問への回答

### <竹内委員>

#### 【質問2：新潟県・柏崎市・刈羽村】

新潟県・柏崎市・刈羽村は、①～③の状況で、国ではなく「自治体が状況を見て対応」しなければならないという認識をもっていましたか。（質問）

- ① 複合災害で PAZ が屋内退避となった場合の対応
  - ② 重要配管の破断などで、フィルターを通さずに高濃度の放射性物質が放出されてしまった場合の PAZ の避難
  - ③ ①②を含む何らかの理由で、PAZ と UPZ が同時避難をしなければならない状況への対応
- ・ 「自治体が状況を見て対応しなければならないという認識があった」との回答の場合、①～③それぞれのケースについて事前に対応方法を検討する予定がありますか(質問)
  - ・ 「認識がなかった」との回答の場合、今後、国とどのようにすり合わせていきますか(質問)。

#### 【回答】

原子力災害時における避難等の実施については、国の原子力災害対策指針において、「原子力規制委員会が、施設の状況や緊急時モニタリング結果等を踏まえてその必要性を判断し、国の原子力災害対策本部が、輸送手段、経路、避難所の確保等の要素を考慮した避難等の指示を、地方公共団体を通じて住民等に混乱がないよう適切かつ明確に伝えなければならない。」とされております。市としましては、この方針に沿って対応していくものと認識しております。

また、避難の実施においては、状況に応じて国、県及び関係自治体と情報共有し、相互に連携して対応してまいります。